

令和4年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・令和3年度のプランでは、裁縫に関して、技能面で個人差が大きいことが課題で挙げられていた。児童同士の教え合いを取り入れ、実際に目の前で教師が模範を見せることで、作業が遅れる児童が減り、習熟の速度も高まった。
- ・タブレットを用いた学習や発表を計画することで、意欲的に自分の興味に沿って調べたり、自分でレイアウトを工夫したりしてまとめている姿が見られている。

(2) 課題

- ・裁縫の技能に関しては、まだ個人差が見られること。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のために調理を実施していない。調理に必要な道具の名前や使い方、栄養に関する指導はしているが、実践できていない。家庭学習にどのように取り入れるかを考えていくこと。
- ・タブレット端末を用いた効果的な活動を考え、活用方法を拡張していくこと。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
手縫い、ミシンの技能は個人差が大きい。繰り返しの練習をさせる。ペア学習を徹底させることで教え合いができるようにする。また、ペアで機能しない場合はトリオ学習を導入する。	単元ごとに、家庭科で学習したことを自分の家庭生活のどの場面で生かせるかを具体的に考えさせる。ワークシートや家庭科ノートを用いて計画を立てさせる。	タブレット端末を活用した課題解決学習の導入。調べ学習や発表を取り入れる。